

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

さわやか挨拶運動

12月8日(金)、日の出前の時間から、本校生徒会・1年3組の生徒が集まり始め、相生駅北側と南側に分かれて「さわやか挨拶運動」を行いました。

相高では、日の出前からいつものように駅周辺のゴミ拾いを行って、挨拶運動を行っています。寒さもだんだん厳しくなってきましたが、元氣な挨拶の声を響かせることができました。



県立高校魅力アップ推進事業 IHI 相生事業所見学

本校の重点目標の一つとして、『体験的な学習などを通して、幅広い視野を身に付け、将来を考える力を育成する』を掲げています。そこで、魅力アップ推進事業の一環として、12月8日(金)に(株)IHI 相生事業所にて校外学習(フィールドワーク)を実施しました。参加者は1年生自然科学コース

スの希望者10名です。はじめに会社概要説明を受けた後、脱炭素化に向けアンモニアを燃料とした発電などの取り組みを紹介する「Carbon Solution Museum」を見学しました。ヘルメットを着用後、IHI 相生工場のうち、アンモニア貯蔵タンクなどを製造する日の浦工場と、カーボンニュートラル技術を開発するエリアである「Development & Demonstration Park」液体ロケットエンジン及び人口衛星用エンジンの燃焼試験を行っているIHIエアロスペースを見学しました。それぞれの場所

で専門の管理職の方から丁寧な説明を受けました。専門的な部分はとも難しくかったですが、生徒たちはメモを取ったり質問したりしながら熱心に聞き入っていました。最先端技術を研究されているということから工場内での写真撮影は禁止されていて、記録に残すことはできませんでしたが、世界有数の技術開発がこの相生の地で行われていることを目の当たりにした生徒たちは、より一層理系分野への興味



県立高校魅力アップ推進事業 鳥取大学工学部訪問

関心を高め、自分たちの学習の目的を鮮明にしたことと思います。

12月12日(火)、2年生自然科学コースは鳥取大学に1日見学に行きました。午前中は工学部の全4学科の研究室



大学説明の様子

を見学して回り、設備や研究内容について大学の先生から丁寧な説明を受けました。昼食は大学の食堂を利用していただき、少し大學生の気分を味わうことができました。午後からは医学部の説明を聞くなど、鳥取大学や各学部について深く知り、考える機会となりました。

貴重な体験をさせていただいた鳥取大学の関係者の方々に深く感謝いたします。生徒にはこの経験を活かし、進路選択についてより真剣に考え、今後の学校生活を大切に送ってもらいたいと思います。



施設見学の様子

1年自然科学コース 特別講義

自然科学コースの1年生40名を対象に、広島大学大学院先進理工



生徒との共演



12月18日(月)、本校グラウンドで「スケアード・ストレイト自転車交通安全教室」が実施されました。「スケアード・ストレイト」とは、スタントマンの交通事故の再現によって「恐れ」や「ひやっ」と「ハッ」とする場面を体験させていただき、交通ルールを遵守することの大切さを体感するものです。

相生警察署交通総務係警部補の早見様より講話をしていただいた後、Super Driversのスタントマンによる迫力の実演が行われました。自転車、トラックの内輪

スケアード・ストレイト 自転車交通安全教室



系科学研究科の藤森祥一教授をお招きし、「指数関数の話」と題して、特別講義をして頂きました。すでに知っている知識はほとんどありませんでしたが、これから高校で学習する極座標や指数関数・三角関数について詳しく解説して頂き、高校数学のその先の内容について踏み込んで講義をして頂きました。これからの数学を学習する姿勢を学び、体系的に様々な内容が繋がっていることを感じる事ができました。

二学期終業式

12月22日(金)、二学期終業式を行いました。小田校長先生からは次のような話がありました。

【校長式辞一部抜粋】

※全文は相高HPをご覧ください。
夢や目標を実現するために、どうすればいいかを考えて、今すべきことに全力で取り組むことだと思えます。若い皆さんには無限の可能性があります。しかし、自分が無理だと思ったらその時点で可能性は0になります。試行錯誤しながらチャレンジを続けることが大事です。冬休みは、一年間を振り返り、そして新しい一年をどう生きるか、自分の人生をどう生きるかにについて考える良い機会です。

終業式の後の表彰伝達式では、部活動や読書感想文、人権作文など様々な活躍の表彰がされました。

その後、臨時の生徒総会を行い服装に関する規定の一部変更がありました。

